

2008年 東ブロック宣教司牧計画の評価

【短期計画】

I ペトロ岐部と187人殉教者および京都大殉教者の列福年に当たって、さらに意識を高める取り組み

毎月行われた教区の列福記念事業特別委員会主催の「京都大殉教の巡礼会」に、各小教区から毎回数名が参加し、8月30日(土)に同じ内容で東ブロック主催と行われた際には30名ほどが参加した。また、教区への特別献金には各小教区が協力し、そのためのバザーを行った小教区もあった。その他ブロック合同広報誌をはじめ各小教区の広報誌に殉教について順次紹介、案内の掲載するなど、列福年に当たりさまざまな取り組みを行った。そして、11月22日河原町教会での「京都の大殉教」列福祈念ミサ、11月24日長崎での「列福式」を十分な意識のもとに迎え共に祈ることが出来た。

II 東ブロックから南部へ：ブロックの枠を超えた宣教活動の推進（ウオーカーソン・平和旬間など）

ブロック行事としては、例年通り8月の「平和への歩み」、11月の「ウオーカソン」を行い、今年は他ブロックへの呼びかけが功を奏し参加者が多かった。特にウオーカソンはゼッケンが不足するほどであった。

その他の行事では、「歌と祈りの集い」については2008年度は実施出来なかった。北白川教会に戻し、ブロックが支援する方式も含め、2009年度検討していくことになった。

III 青少年育成プログラムの充実化への取り組み

青少年育成については、中高生を中心に合同合宿など一定の成果をあげているが、教会学校の錬成会などは、今まで通り一部小教区間で合同で行っているが全体での連携となるとまだまだ問題が多い。また、各小教区とも教会行事への参加はある程度出来るが、教会運営へとなると青年向けにより対策がとれていない。

IV ブロック合同部会の立ち上げとその充実化

合同部会の現状

○典礼部

- ・ 3ヶ月に1度（第3土曜日15時～）行われている。

- ・ミサ典礼の方式が小教区で差異があり、統一化に向けての取り組みなどが検討されている。

○広報部

- ・3ヶ月に1度（第3土曜日17時～）行われている。
- ・ブロック広報誌のあり方再検討が必要である。

○教育部（青少年育成）

- ・行事毎に、必要に応じ行われている。
- ・成人を対象とした取り組みはまだである。

○施設管理部、財務部

- ・未だ合同部会は行われていない。2009年度の課題である。
- ・情報交換からでも、年1回は行うように検討していく。

【長期計画】

- I 福音宣教する教会づくりの積極的推進
- II 将来の教会を担う青少年世代の育成
- III 「共同宣教司牧」に資する部会制度の充実
- IV 教会から遠のいている信者への対応や方策
- V 未信者に対する福音宣教の積極の方策

◎長期計画の評価と課題

- ①ブロック行事、各小教区の行事とも、内から外への意識のもとに行うようになってきている。
- ②成人向けへの課題が残されている。高齢化、少子化時代への対応を急がねばならない。
- ③合同部会が本格的に活動していく方向に向かっている。各小教区評議会規約が発効し、各小教区が規約に基づき部会制度確立を目指して活動し、共通5部会が本格的に運営されることが望まれる。
- ④計画を絞り込んで重点的に行い、効果をあげねばならない。